


一般質問 議:議員/理:理事者

- 「キャンナス勝山」への支援について
- 市の広報物の配布体制について

その他の質問
 ・移住者への「0円空き家バンク」支援策について
 ・勝山市夜間タクシー運行支援交付金について
 ・市内の雰囲気作りに恐竜モニュメントを増やすことについて



下道恵子 議員

議 令和7年10月に「キャンナス勝山」が発会した。「キャンナス」とは全国に拠点があり在宅介護時に現行の介護保険外サービスをする有償ボランティアの会である。地域に住む看護師や介護士が病院の受診に付き添いするなどのお手伝いをする。その会への支援と利用者の個人負担を軽減するための支援をできないか市の見解を伺う。

理 「キャンナス勝山」は、勝山地域おこし協力隊員の活動として発足しており、市は組織の運営経費等を支援している。看護師や介護士の専門職が在籍しており、特に医療的ケアが必要な方の心強い支援の一つになると期待し、市としても活動を注視していく。現時点で市からの利用料軽減の補助は考えていないが、介護が必要な方が安心してサービスを利用できるよう、安全講習会の開催など検討していく。


議 市の広報物の配布は、区長が全戸配布する区や人数の多い地区だと何班かに振り分けられ班長が配布している。現在市のLINE登録をすることで広報も配信されるが、他の回覧物もLINEで全戸配信の方向にいけないだろうか。LINE登録が困難な方に対しては紙媒体で郵送したと考える。区長の仕事の負担にならないよう今後の検討を希望するが市の考えを伺う。

理 現在月2回、市の広報物を行政協力員である区長にお願いし配布している。昨年度実施した自治会実態調査で配布文書の量が多い等の意見があったため、市は全地区への回覧文書の廃止、市公式ホームページや公式LINE活用によるペーパーレス化を推進し、文書削減に努めている。また、区長と行政協力員の役割を分離する仕組みづくりの導入を検討している。引き続き区長の負担軽減を図り、持続可能な集落の実現に努めていく。

一般質問 議:議員/理:理事者

- 防災計画について

その他の質問
 ・教育会館の改修について
 ・市道5-21号線の防犯灯について
 ・農地バンクに貸し付けた農地の課税特例適用漏れについて



下牧一郎 議員

議 令和6年能登半島地震では、職員減少や多様な避難形態のため、従来の「場所の支援」だけでなく「人の支援」への転換が不可欠となった。政府は、外部からの応援職員を円滑に受け入れるための「受援計画作成の手引き」を令和7年4月に発表した。この受援計画は、災害時における応援の要請、受入れ、活動・運用、及び帰庁の手続きを事前に明確にすることで、迅速かつ的確な受援体制を確立することを目的としている。受援体制を実効性のあるものとするには、平時からの他部署との業務分担の検討、既存の防災計画との整合性の確保、そして定期的な訓練の実施が重要である。これらを踏まえ、防災計画を補完する受援計画を見直すべきだと思うが市の見解を伺う。

理 国は令和2年4月に「市町村のための人的応援の受入れに関する受援計画作成の手引き」を策定し、市ではこれを参考に、応援職員や物的支援を迅速、的確に受け入れ、情報共有や各種調整を行うための体制と受援対象業務を定め、令和4年5月に「勝山市受援計画」を策定した。同年10月には県と市合同で総合防災訓練を実施し、受援計画に基づく応援要請訓練を実施している。本年4月の国の手引き改訂では、宿泊場所のリスト活用や応援人数の例示など、平時から点検すべき事項が追加されている。市としては、図上訓練や国・県・自衛隊等との定期的な受入訓練を実施するとともに、被災地への応援職員として携わった際の知見や経験を加味し、本年度中に受援計画を改訂する予定である。